

令和 6 年度の事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 凸凹革命

1 事業の成果と今後の予定

・京田辺市「ひきこもり支援事業」「就労準備支援事業」京都府「ひきこもり状態にある者のための社会参加事業」「ひとり親居場所事業」は継続受託し、「京田辺リメディアル教育学院」「ひとり親家庭のための居場所事業」を実施した。

2025 年度は、「京田辺リメディアル教育学院」の「学習課程、就労課程」として発展統合させる。

既存の「就労支援課程」では、ふくまさ商店の福井真人氏に担当理事として就任いただくことで、就労体験を強化すると共に、被支援者からスタッフへのステップアップの仕掛け作りをしていく。

「進学課程」では、旧来の居場所事業というよりも、平日午後 12:00～16:00 の「新しい学校」として既存教育へ訴求するための取り組みとしたい。

・「京田辺シェルター」では、リメ利用者の就労体験と合わせて、毎週清掃指導を実施。2025 年 5 月入居者の卒業に伴い、女子シェルターへ転換する予定。

・2024/9/21 と 2025/3/22 に「凸凹教育研究会」を開催し、専門家などの交流ができた。参加者計 31 名。今後も継続予定。

・カウンセリングオフィスの機能はジョイビジョン京田辺内で実施しているため、当法人内では、心理検査の実施を担うよう方針転換する。

・TRPG 会は毎月 1 回以上リモート実施を継続。ボードゲームを中心にした教室・イベント等でリアルなコミュニケーションのための居場所も行っていく予定。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象 者の範囲 (E)人数	事業費の金額（概算） （単位：千円）
① 就労支援及びフリースクールとしての居場所事業	【京田辺リメディアル教育学院】 京都府「ひきこもり社会参加支援事業補助金」を受託。 京田辺市「就労準備事業」等も利用する	A) 月水金 10～15 時 B) サポーツ京田辺 C) 3 名	(D) ひきこもり状態にある者 (E) 当事者実人数 14 名	1947 （内職・修理事業費を含む）
	【ひとり親居場所】 京都府「きょうとこどもの城づくり事業（短期型）」を受託	A) 長期休み等 15 日間 10～14 時 B) サポーツ京田辺・教育総合センター	(D) ひとり親家庭とは限らず必要とする者 (E) のべ 180 名	531
② 生活困窮世帯及びひきこもり支援事業	「京田辺シェルター」現在利用者 2 名。週 1 回清掃補助が入る。	AB) 京田辺シェルター C) 清掃スタッフ 1 名（リメ利用者）	D) 生活上の要支援者 E) 利用者 2 名	65
③ 教育と医療・福祉の連携接続事業	教育指導者を対象にしたセミナー「凸凹教育研究会」を開催	A) ① 2024/9/21 ② 2025/3/22 B) サポーツ京田辺 C) 2 名	(D) 教育指導者 (E) ① 15 名② 16 名	51
④ カウンセリング事業	カウンセリングオフィスの開設から WISC 検査のみ実施に転換	A) 2025/3/28 B) サポーツ京田辺 C) 1 名	(D) 心理的支援が必要な者 (E) 1 名	0
⑤ 人材再生事業	他の企業や団体等において、その構成員等に支援及びコンサルティングを行う	実施せず	(D) 該当団体に所属する者 (E)	0
⑥ コミュニケーション力育成事業	TRPG 会（テーブルトーク・ロールプレイングゲームを通じたコミュニケーション）	A) 毎月 1.5 回 B) リモート C) 1 名	(D) ひきこもり状態にある者+それに理解のある参加者 (E) のべ 30 名	0
⑦ その他この法人の目的を達成するために必要な事業		実施せず		0

